



2022年10・11月 特別号

日本共産党 品川区議会議員 区政報告

のだて 稔史

ニュース

区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せ下さい。

事務所：品川区豊町6-2-1 Tel：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 Tel：03-5742-6818

再開発ビルに1520億円の税金投入

品川区

超高層再開発に前のめり

区議会事務局を通して行う23区調査により品川区の再開発推進の姿勢が浮き彫りになりました。

福祉は23区最低水準

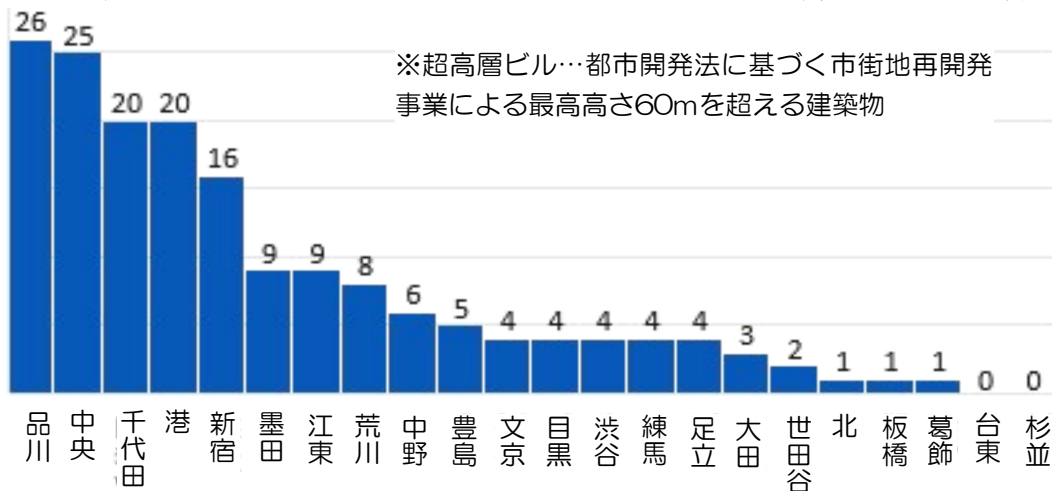
地方自治法では住民福祉の増進を自治体の基本的役割に掲げています。ところが、品川区は高齢者や障害者の施設を整備せず23区最低水準に福祉を削減。特養ホームは約400人待ち、障害者グループホームでは区内に入らず北海道や東北に入所家族に会えない方もいるほどです。

更に長期基本計画改定時に福祉の文言をなくすなど自治体の役割を後退させる姿勢を鮮明にしています。

一方、区の長期基本計画で具体的な地域名を挙げ、更なる推進をつたっているのが、超高層再開発です。

23区で比較すると品川区の特殊性がより顕著になります。再開発で建設した超高層ビルの棟数は26棟でトップ（下図）。これまで再開発に投入

再開発により建てられた超高層ビルの棟数23区比較



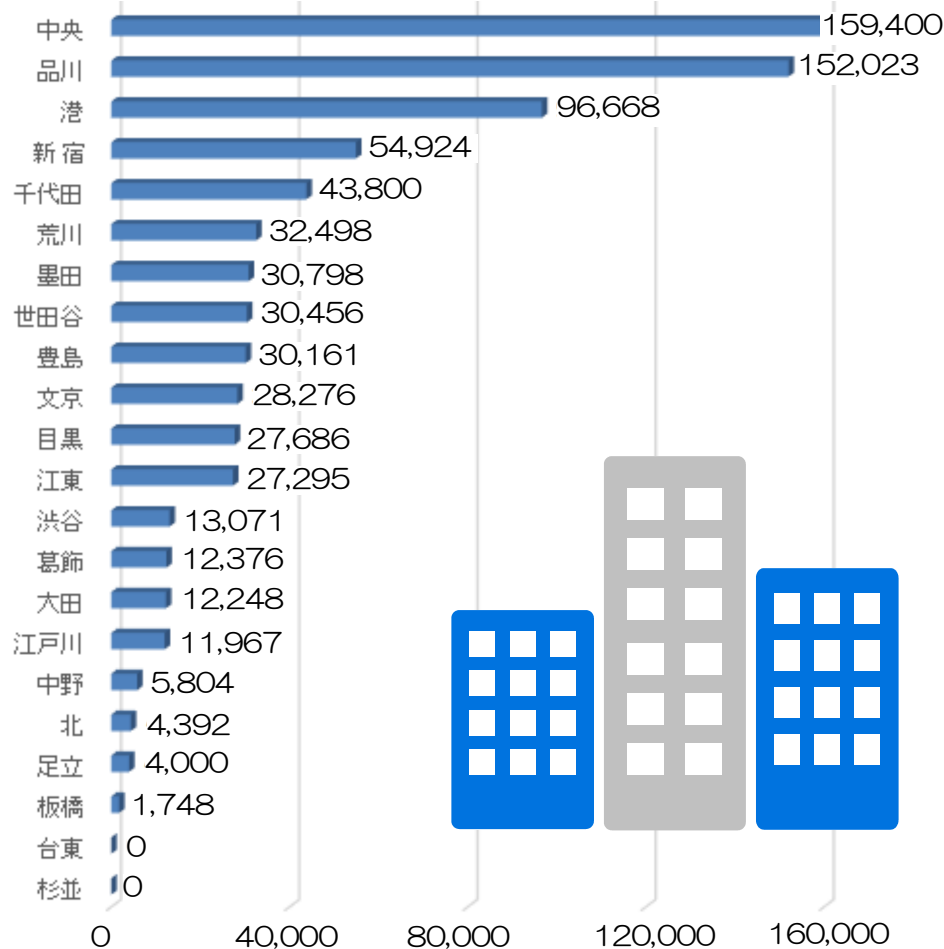
した税金総額も1520億円余に達し、中央区に僅差で次ぐ2位であり、3位の港区の1.5倍と突出しています（裏面の図参照）。ウラへ続く

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、36歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所で6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。ジブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

再開発に投じられた補助金総額の23区比較

単位：百万円 ※国・都・区含む



超高層これ以上やめるべき63%
区は「防災」「にぎわい創出」を口実に、住民を追い出し、開発業者のもうけを生み出す再開発を総事業費の2〜3割の税金を投じて進めています。

この超高層再開発ビルが区内で問題になっており、武蔵小山や大崎、大井町、戸越公園などの駅周辺で近隣住民だけでなく地権者からも反対の声があがっています。今年1月には8つの住民団体が「住み続けられるまちづくりを

10・11月の品川区議会日程

10月26日 10:30～ 議会運営委員会	11月2日 10:00～ 行財政改革特別委員会
10月27日 14:30頃 一般質問 安藤たい作	11月4日 10:00～ 災害・環境特別委員会
10月28日 13:00～ 一般質問 鈴木ひろ子	区役所4階区議会事務局で傍聴申請をしてください。また一般質問は区議会ホームページにて中継されますのでこちらもご活用ください。
10月31、11月1日 10:00～ 総務、区民、厚生、建設、文教の各常任委員会	

ざす品川区民の会」を結成し、開発企業の利益のためのまちづくりではなく、住民合意のまちづくりを求める活動が広がっています。共産党が実施したアンケートでは超高層再開発はこれ以上やめるべきとの回答が約63%で、進めざる、超高層は止めるべきです。住民は望んでお

無料
法律相談

11月7日(月) 午後6時～8時

会場：のだて稔史事務所 豊町6-2-1

お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒に話を伺います。
できるだけ事前にご連絡下さい。Tel 3786-6674

日本共産党